

## 指標の達成状況（2017～2021年度）

No.	内容	対応する 20年目標	目標数値 (2021年 度)	実績 (2021年 度)	具体的な実施内容	備考
指標1	生物多様性に関する教材作成	1, 2, 4, 10	1冊/3年	1冊/5年	2020年度にオリジナル絵本「ココノエのこえ」を制作	
指標2	中学生を対象としたアンケートの実施結果（生物多様性の意味を知っている人の割合）	2	80%	7%	毎年中学1年生を対象としたアンケートを実施。「あなたは生物多様性のことを知っていましたか？」という問に対して、「意味も言葉も知っていた」と答えた人の割合。	町実施調査結果より（2021年度）
	中学生を対象としたアンケートの実施結果（町内の自然体験活動に参加したことがある人の割合）	2	50%	34%	毎年中学1年生を対象としたアンケートを実施。「九重町内の自然体験活動に参加したことがありますか？」という問に対して、「ある」と答えた人の割合。	町実施調査結果より（2021年度）
指標3	現地学習会を開催し、地域住民が自然環境にふれあう機会創設	3, 7, 16	1か所/年	1か所/年	重要スポットを有する地域を中心に学習会を開催。 2017：うるが水台（学習会及び現地見学会）2018：鹿伏岳（学習会）、滝上（現地見学会）2019：湯沢（学習会）2020：コロナ禍のため未実施 2021：地藏原（ケーブルテレビ）	
指標4	遺伝子の多様性に関する啓発活動（広報、テレビ等）実施	5	1回/年	0回/年	2017：広報このえ（2回）、2018：広報このえ（1回）	
指標5	オオハンゴンソウの駆除活動参加人数	6	321人/年	160人/年	九重の自然を守る会、飯田まちづくり協議会が主体となり実施。 2018～2019年度：三井住友による駆除活動 ※2017年度は雨天のため中止	各種団体の記録を基に、町が把握しているデータ（2021年度）
	オオハンゴンソウ駆除活動駆除重量		2083.5kg/年	430kg/年		
指標6	九重町における二酸化炭素排出量の推移	8	88,360 t-CO2	92,000 t-CO2		自治体排出量カルテ（2018年度実績）※2021年度に公開されたデータ
指標7	重要スポットにおける植生などの調査実施	9	2か所/年	1か所/年	2017：鹿伏岳、小林の草原、2018：湯沢、2019：熊の墓～寺床、2020：地藏原湿原、2021：狐師山	
指標8	健康と生物多様性を組み合わせた事業の実施回数	11	2回/年	0回/年	2017：九重ふるさと祭り・暮らしの学校における学習会・野倉いきいきサロンへの参加 2018：野倉いきいきサロンへの参加	
指標9	農業の低減に取り組む経営体数	12	75.6%	5.8%	2020年農林業センサスにおける農業経営体数は763で、有機農業（※）に取り組んでいる経営体数は44 ※農林業センサスにおいて、「農業の低減」に関する項目が削除されたため、「有機農業」に取り組んでいる経営体数を挙げている。	2020年農林業センサス
指標10	農作物の加工を行っている経営体数	12	4.2%	3.3%	2020年農林業センサスにおける農業経営体数763で、農作物の加工を行っている経営体数は25	2020年農林業センサス
指標11	野焼きを実施している牧野組合などの団体数	13	6団体	5団体	町内5団体が野焼きを実施。	町把握データ（2021年度）
	野焼きを実施している牧野組合などに所属している会員数		300人	282人		
指標12	有害鳥獣の捕獲人数	14	75人	81人		町把握データ（2021年度）
指標13	収集ごみ（可燃ごみ）1人1日あたりごみ排出量	15	357.5 g/人日	443.7 g/人日		町把握データ（2021年度）
指標14	生物多様性に関する制度整備	17	1制度	0制度		